

平成18年10月6日

各位

株式会社吉野家ディー・アンド・シー
代表取締役社長 安部 修仁
(コード番号 9861)
問合せ先 常務取締役企画室長 池上 久
(TEL 03-5269-5001)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年2月期(平成18年3月1日~平成19年2月28日)の連結及び単体業績予想について、平成18年4月7日付け平成18年2月期決算発表時の業績予想を下表の通り修正いたします。

記

1. 当期(平成18年3月1日~平成19年2月28日) 業績予想数値の修正

【連結予想数値の修正】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益又は 当期純損失()
前回発表予想(A)	135,100	5,300	2,200
今回修正予想(B)	136,200	3,900	1,800
増減高(B-A)	1,100	1,400	400
増減率(%)	0.8	26.4	18.2
前年同期【平成18年2月期】実績(C)	122,386	2,181	387
対前年同期増減額(B-C)	13,813	1,718	2,187
対前年同期増減率(%)	11.3	78.8	

【単体予想数値の修正】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	76,200	4,500	2,300
今回修正予想(B)	73,800	2,900	1,800
増減高(B-A)	2,400	1,600	500
増減率(%)	3.1	35.6	21.7
前年同期【平成18年2月期】実績(C)	65,773	1,889	721
対前年同期増減額(B-C)	8,026	1,010	1,078
対前年同期増減率(%)	12.2	53.5	149.5

2. 修正の理由

- (1) 売上高は、前年に対し主力の「吉野家」が好調に推移するとともに、下期から連結の対象となった「はなまる」が加わったため、大幅に上回る見込みです。当初予想に対しましては、「吉野家」が米国産牛肉の再開の遅れによる影響を受けましたが、「はなまる」が加わったため上回る見込みです。
- (2) 経常利益は、「吉野家」の売上高が当初予想を下回り、牛丼再開に向けた宣伝費などが増加したため、当初予想を下回る見込みです。
- (3) 当期純利益は、黒字化し前年を大幅に上回る見込みですが、上記(1)(2)の理由により当初予想を下回る見込みです。

以上